

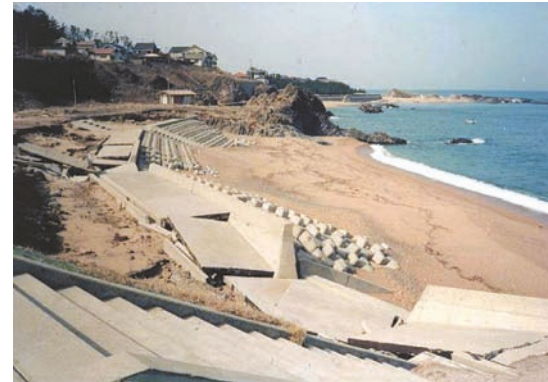
◎高波

京都府の海岸は、日本海側に面しており、冬季は激しい風浪が押し寄せます。強いときには瞬間最大風速が60m/sに達することもあり、時には大きな災害を受けることもあります。



平成6年2月 後ヶ浜海岸（京丹後市丹後町）冬季風浪の様子

激しい風浪により、海岸保全施設に被害が発生することもあります。（写真右上、写真右下）



平成3年2月 後ヶ浜海岸



平成6年2月 後ヶ浜海岸



昭和47年9月 由良海岸（宮津市）

海岸侵食により砂浜が消失すると、冬季風浪時に越波が発生しやすくなり、背後地の家屋等が被災することがあります。（写真左、写真下）



越波により被災した人家

◎侵食

全国的に大きな問題となっている海岸侵食は、京都府でも例外ではなく、砂浜海岸ではほぼ全域にわたって侵食の傾向にあります。特に、近年侵食の度合いは激しく、久美浜海岸、後ヶ浜海岸等の侵食は著しいものがあります。



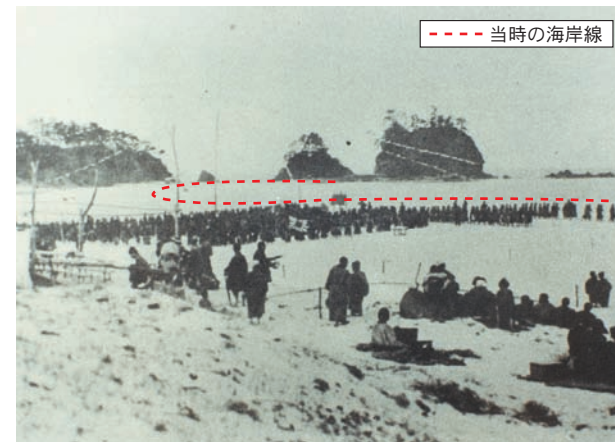
久美浜海岸（京丹後市久美浜町）

冬季風浪によって約3.5mの浜崖が発生するなど、度々大きな侵食を受けています。



神崎海岸（舞鶴市）

冬季風浪により海水浴に影響が出るほどの侵食を受けることもあります。



久僧海岸（京丹後市丹後町）

大正時代には運動会ができるほどの海岸も（写真上）、昭和の終りには海水浴が出来ないほど侵食を受けました（写真右上）。その後人工リーフや養浜による侵食対策を行っていますが、現在でもたびたび侵食を受けています（写真右下）。

